サポート情報記事

# Azure DevOps Query Viewer: クイック アクション (状態の変更、割り当て、期限の設定、コメントの追加)

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

# 免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

## 免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

## 誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

## フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

## 「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

## お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

# 目次


概要 4

始める前に 4

管理者がクイック アクションを有効にする方法 4

「アクション」メニュー 5

作業項目を別のユーザーに割り当てる 6

期限を設定またはクリアする 6

コメントを追加する 7

アクション実行後の動作 7

アクションが失敗した場合 7

用語 9

# 概要

既定では、**Azure DevOps** Query Viewer Web パーツは、保存済みクエリの結果を表示するだけです。**クイック　　アクション**を有効にすると、各行に**アクション**メニューが表示され、表示されている作業項目をその場で更新できます。状態の変更、自分または同僚への割り当て、期限の設定とクリア、コメントの追加を行えます。変更はすぐに Azure DevOps に書き込まれ、更新された行だけが再読み込みされるため、一覧のその他の部分は変わりません。

この記事では、管理者が機能を有効にする方法、各メニュー項目の動作、更新に失敗した場合の対処方法を説明します。Web　　パーツ自体については、KB10304. Azure DevOps Query Viewer: セットアップとクエリの接続を参照してください。

**警告**

クイック アクションでは、**Azure DevOps 内の実際の作業項目**が変更されます。すべての変更はユーザー自身の名前で保存され、Azure DevOps で直接変更した場合と同じように、作業項目の履歴に記録されます。Web　パーツには、元に戻すボタンがありません。変更を取り消すには、逆の変更を行ってください。

# 始める前に

- Web パーツが、Azure DevOps の組織、プロジェクト、クエリに接続されていること。
- 使用するアカウントに、Azure DevOps で作業項目を編集する権限があること。Web パーツはサインインしているユーザーとして動作するため、そのユーザーが Azure DevOps でできる範囲を超える操作はできません。読み取り権限しかない場合は、メニューは表示されますが、Azure DevOps によって更新が拒否されます。
- Azure DevOps の **user_impersonation** アクセス許可が、**SharePoint** 管理センターでテナント管理者によって承認されていること。詳しくは、KB10303. My Tasks: 必要なアクセス許可、プライバシー、セキュリティを参照してください。

# 管理者がクイック アクションを有効にする方法

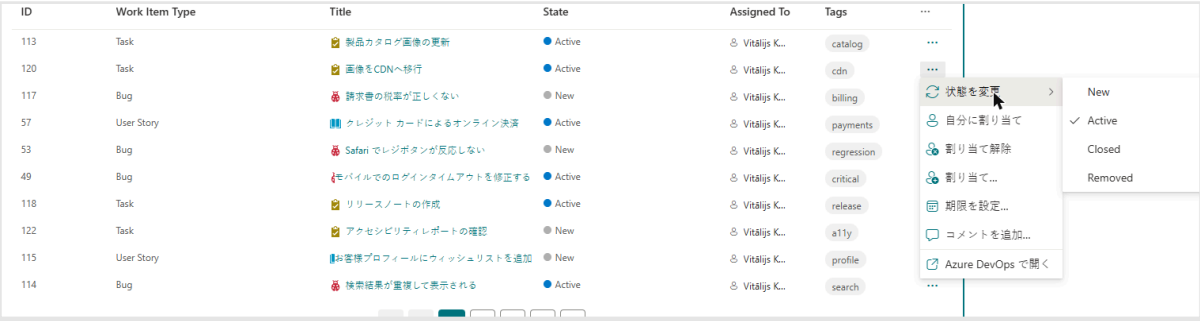
1 ページを開き、**編集**をクリックします。

2 Azure DevOps Query Viewer Web パーツを選択し、鉛筆アイコンをクリックして、プロパティ ウィンドウを開きます。
3 **その他**グループで、**クイック アクション**トグルをオンにします。
4 ページを発行します。

トグルは**既定でオフ**です。オフの間は、行にメニューが表示されず、Web パーツは読み取り専用になります。

## 「アクション」メニュー

機能を有効にすると、各行の末尾に **...** ボタン **(アクション)** が表示されます。クリックすると、メニューが開きます。




*作業項目の行の「アクション」メニュー*

| メニュー項目 | 動作 |
|---|---|
| 状態を変更 | この作業項目タイプの状態 (New、Active、Resolved、Closed など) をサブメニューに表示します。現在の状態にはチェック マークが付いています。別の状態をクリックすると、作業項目がその状態に移ります。 |
| 自分に割り当て | **担当者**フィールドに自分を設定します。 |
| 割り当て解除 | **担当者**フィールドをクリアします。 |
| 割り当て... | 作業項目を別のユーザーに割り当てるダイアログを開きます。 |
| 期限を設定... | 期限を設定またはクリアするダイアロ |

| メニュー項目 | 動作 |
| --- | --- |
| | グを開きます。プロジェクトに**期限 (Due Date)** フィールドがある場合にのみ表示されます。 |
| **コメントを追加...** | 作業項目のディスカッションにコメントを追加するダイアログを開きます。 |
| **Azure DevOps** で開く | 作業項目を Azure DevOps の新しいタブで開きます。 |

**状態を変更**、**自分に割り当て**、**割り当て解除**は、ダイアログを表示せずに、すぐに適用されます。行の更新中は、その行の**アクション**ボタンは使用できません。

## 作業項目を別のユーザーに割り当てる

1 **アクション**メニューを開き、**割り当て...** をクリックします。
2 **ユーザー名またはメール**フィールドに、割り当てるユーザーの名前またはメール アドレスを入力します。
3 **保存**をクリックします。

フィールドに入力すると、**保存**を使用できるようになります。名前は Azure DevOps が解決します。該当するユーザーが見つからない場合は、ダイアログにエラーが表示され、作業項目は変更されません。

## 期限を設定またはクリアする

1 **アクション**メニューを開き、**期限を設定...** をクリックします。
2 **期限**フィールドで、カレンダーから日付を選択します **(日付を選択... )**。
3 **保存**をクリックします。既存の日付を削除するには、**日付をクリア**をクリックします。




*「期限を設定」ダイアログ*

メモ

**期限を設定...** は、プロジェクトに **Due Date** フィールド (Microsoft.VSTS.Scheduling.DueDate) がある場合にのみ表示されます。プロセステンプレートによっては、このフィールドがありません。項目が表示されない場合は、お使いのプロジェクトでこのフィールドを使用できません。

## コメントを追加する

1 **アクション**メニューを開き、**コメントを追加...** をクリックします。
2 **コメント**フィールドにテキストを入力します。このフィールドは複数行に対応しています。
3 **保存**をクリックします。

コメントは、ユーザー自身の名前で作業項目のディスカッションに追加されます。フィールドが空の間は、**保存**は使用できません。

## アクション実行後の動作

Azure DevOps が変更を受け付けると、ダイアログが閉じ、**その作業項目の行だけが再読み込みされます。**新しい状態、新しい担当者、新しいコメント数がすぐに表示されます。他の行は再読み込みされないため、状態を変更した結果、作業項目がクエリの条件に一致しなくなった場合でも、その行は一覧から消えません。クエリ全体を再実行するには、**更新**をクリックするか、自動更新が実行されるのを待ちます。

## アクションが失敗した場合

Azure DevOps は、すべての変更をプロセスのルールに照らして確認します。たと

えば、次のような場合は変更が拒否されます。

- 作業項目を編集する権限がない。
- 選択した状態への遷移が許可されていない、または新しい状態で必須のフィールドが空である。
- 入力したユーザーが見つからない、またはこのプロジェクトで割り当てられない。

直接実行するアクション **(状態を変更、自分に割り当て、割り当て解除)** が失敗した場合は、一覧の上に赤いバーが表示され、*更新に失敗しました*に続いて Azure DevOps のメッセージが表示されます。ダイアログを使用するアクション **(割り当て...、期限を設定...、コメントを追加...)** のエラーは、ダイアログ内に表示されます。ダイアログは開いたままなので、値を修正するか、**キャンセル**をクリックできます。どちらの場合も、作業項目は変更されません。

**ヒント**

必須フィールドが原因で状態の変更が拒否された場合は、**Azure DevOps で開く**をクリックし、Azure DevOps でフィールドを入力してから、もう一度試してください。Web パーツで何も読み込めない場合や更新できない場合は、KB10307. My Tasks のタスクが表示されない、または読み込まれないのはなぜですか?を参照してください。同じ Web パーツのその他の機能については、KB10305. Azure DevOps Query Viewer: 複数のクエリ タブ、グループ化、検索、列のリセットで説明しています。

# 用語

**Azure DevOps**

Azure DevOps Services (旧称 Visual Studio Team Services) は、バージョン管理、要件管理、ビルドとリリースの自動化パイプライン、テスト機能を提供するクラウドベースの製品です。

**SharePoint**

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。